

2013 年度 漢城大学校サマープログラム報告書

函館校 国際文化・協力

2年 増森彩香

1. はじめに

私は 2013 年 8 月 27 日から 9 月 13 日まで行われたこのプログラムに参加しました。参加者は北海道教育大学から 3 名、山口福祉大学から 2 名でした。現地では、漢城大学のキム先生、日本語教師の土井美穂先生、そして 3 名の学生にサポートしていただきました。プログラムの内容は大きく分けて二つ、漢城大学での土井先生による授業と、韓国の学生にソウル市内の見学案内をしてもらうというものでした。

2. 授業

授業は全部で 6 回でした。授業がある日は、ゲストハウスから徒歩 20 分ほどにある漢城大学へ行って、土井美穂先生の講義を受けます。講義についてですが、10 時～11 時は韓国社会文化について、11 時～12 時は韓国語の学習をします。韓国社会文化についての授業で特に印象に残ったのは、日韓の文化や言語行動についてです。似ていると言われる日本と韓国ですが、それぞれの文化にはちょっとした違いがあります。この違いを理解していないと、日本では当たり前なことが韓国ではマナー違反になることもあるそうです。

韓国語の授業では、今回の参加者全員に韓国語学習経験がありハングルを読めるということだったので、単語の発音練習から始まりました。また、韓国語の授業からは、サポート学生の中から毎回 1 人来てくださり、私たちの発音をチェックしてくれます。そして挨拶や自己紹介の練習、電話番号や誕生日の言い方、存在詞、動詞の活用について学習しました。日本人には同じように聞こえる発音も、韓国語では二種類に分かれていたりするので難しかったです。



↑漢城大学

拶や自己紹介の練習、電話番号や誕生日の言い方、存在詞、動詞の活用について学習しました。日本人には同じように聞こえる発音も、韓国語では二種類に分かれていたりするので難しかったです。

6 回目の最終授業では、日韓の未来についてひとりひとり意見を発表しました。日本をとりあげた韓国のニュースを動画で見せてもらい、日本が韓国で少し右翼的に報道されていることを知り驚きました。

3. ソウル市見学

土曜日、日曜日、帰国前日意外は、全てソウル市見学をさせていただきました。実際に韓国の地下鉄やバスなどの交通機関を使い、目的地まで移動します。昌徳宮や景福宮などの歴史的建造物の見学や、南山タワーに上りソウル市内を眺望し、伝統的な街である仁寺洞では韓服体験をしました。また、戦争記念館や国立博物館などの施設見学や、DMZ（非武装地帯）では北朝鮮を見ることもできました。それだけではなく、NANTA や B-BOY ショーの公演や、エバーランドというテーマパークでの娯楽を楽しみましたし、漢江では遊覧船にも乗りました。戦争記念館には、韓国と北朝鮮に分かれてしまい敵同士となった兄弟が戦場で偶然再会し抱きしめ合う、という像がありました。これは実話だそうで、他にも戦争についての史料が数多くあり、韓国の歴史を知るうえで重要なものでした。



←戦争記念館の像



昌徳宮→

4. 寮について

プログラム中の18日間、私達が滞在させていただいたのは、漢城大学の外国人教師用のゲストハウスでした。部屋は二人で一室を使うようになっていて、5人で3部屋を使わせていただきました。部屋には、トイレ、シャワー、ガスキッチン、二段ベッド、クローゼット、ハンガー、冷蔵庫、クーラー、布団、そして部屋の外に洗濯機が計4台あります。トイレトペーパーとゴミ袋と洗濯用洗剤は大学からいただきました。ガスがあるのでお湯を沸かしてカップラーメンを食べることができましたし、8月9日は猛暑が続いていましたが、クーラーのおかげで快適に過ごせました。ひとつ注意することは、日本と韓国ではコンセントのプラグが違うので、電気屋でCタイプかSEタイプの変換アダプタを買っていくことをおすすめします。携帯やカメラ、ノートパソコンの充電は変圧機がなくても大丈夫なので、電圧の高い電子機械を持って行かないのなら、変圧機を買う必要はありません。

寮からのアクセスについてですが、坂を登る漢城大学までは歩いて20分、最寄りの「漢城大入口駅」までは歩いて15分です。一番近いGS25というコンビニは歩いて3分だったので朝食を買うのにとっても活躍しました。駅から寮までの帰り道にはスーパーやパン屋もあり生活に困ることはありませんでした。

5. ソウルでの生活

実際にソウルで生活してみて感じたことは、とにかくカフェが多い！ということでした。そしてそのほとんどのカフェでは、Wi-Fi を借りることができます。また、コンビニでは



↑ 63 ビルからの夜景
の夜景を眺めることができました。

韓国の気温についてですが、30 度を超える日もあり暑かったです。しかし、9 月になると朝と夜は少し肌寒くなりました。また、食堂や建物の中ではクーラーや扇風機で冷えていることがあるので、薄手の上着を持っていくと良いです。そして滞在中には雨が何度か降り、持参した折りたたみ傘が役に立ちました。

Olleh Wi-Fi を購入できます。

土曜日と日曜日は地下鉄に乗って、ショッピングやお土産を買いに明洞、東大門や女子大学がある梨大、弘大へ行きました。ソウルの地下鉄はとてもわかりやすく、大学からいただいた T-money（韓国交通電子マネー）を使うと非常に便利でした。プログラムにはありませんでしたが、漢江の近くにある 63 ビルという、韓国で一番高いビルでは、水族館や蝸人形を見ることができます。そしてビルの最上階からは、最高

6. 最後に

日本にいて韓国についてニュースや報道を見る限りでは、関係があまり良くないというイメージを持つ人が多いと思います。しかし韓国でも同じです。ニュースや報道ではその国の一部しか見ることができません。実際に自分の目で、自分の足で行ってみることで、その国について、また日本について見直すことができます。ですから、韓国に興味がある学生には是非おすすめしたいプログラムです。

このような貴重な体験をできるプログラムに参加することができ、素敵な友人たちにも出会えました。今回のプログラムに携わってくださった皆様に深く感謝申し上げます。

DMZ での集合写真→

